

農業委員会 総会（12月） 議事録

日時	令和5年12月19日（火）		9:00-10:30
場所	住民センター 1階 会議室		
出席	農業委員会長	12	石野 正幸
	農業委員	1	公文 宏司
	農業委員	2	内藤 政之
	農業委員	3	大沼 剛
	農業委員	7	宮川 みゆき
	農業委員	8	植松 由美子
	農業委員	10	小久保 利佳
	農業委員 会長職務代理	11	吉見 一之
	農地利用最適化推進委員		前田 亙
	農地利用最適化推進委員		百井 隼太
	事務局	事務局	新井 智美
欠席	農業委員	5	奥山 敏仁
	農業委員	6	天野 律子
	農業委員	9	北村 一男
	農地利用最適化推進委員		宮原 淳
		事務局長	釜 靖昭
傍聴人	1名		

- 1 会議事件 (1) 議案第21号 農地法第3条による許可申請について

- 2 協議事項 (1) 島しょ農業委員・農業者大会について
 - (2) 現況課税について
 - (3) 刈払い機の講習会について
 - (4) その他
 - ① 農業委員会活動の成果・課題と今後の取り組みについて
 - ② 意見書の回答について
 - ③ 簡水の引き込みについて
 - ④ 活動記録カードについて
 - ⑤ 農業委員会だより 3月号について
 - ⑥ 議事録署名人について
 - ⑦ 1月の総会について

1 会議事件

(1) 報告第 21 号 農地法第 3 条による許可申請について

本村地区 11 筆

耕作可能なのは 3 筆ほどで、場所判別も難しい農地ばかり。譲受人は元々沖縄でツアーガイドを行っていたが、最近帰島し、明日葉とあめりか芋の栽培を計画しているとのこと。譲渡人のご主人が以前キウイなどの栽培を行っていたが、既に逝去され、奥様はもう高齢で体調不良でもあることから知人である譲受人に譲渡したいとのこと。全会一致で承認。

2 協議事項

(1) 島しょ農業委員・農業者大会について

事務局 : 11/6-7 で行われた当大会では、初日は都や国へ提出する要望に関する決議、各島の報告、農業会議会長の青山氏の講演が行われた。決議に関しては、都市農業ではなく島しょ地区に重きを置かれた内容となる唯一の機会であるため、内容の確認が慎重に行われた。

2 日目は、清瀬市の松村農業委員会長の畑、所沢市の服部さんのクリスマスローズ、JA 東京みらい清瀬支店の視察へ行った。会長、2 名の委員、1 名の農業者にご同行いただいたので、皆様のご報告を。

奥山委員は欠席のため、事務局で復命書を読ませていただく。

今後の式根島の農業活動に活かせる情報と知識を頂いた。島の農業の問題点はどの島も同じで後継者不足、人口減少による耕作放棄地増加、若者の農業離れ、異常気象による収穫量の減少、このような状況を少しでも解決すべきチーム新島村で活動していきたい。

新島村にはまだ可能性がある。八丈島・大島・三宅島・神津島で行っている農業研修制度はかなり本気で取り組まなければ参加できない厳しい制度だと感じたが、新島村はふれあい農園を活用し、体験農業・教育農業、また観光と力を合わせる観光農業等を考慮し、まずは農業を楽しんでいく取り組みが必要だと思う。

耕作放棄地は一人の力では限界があるため、耕作放棄地お助け隊等、ボランティアとして若者の力借りる八丈島農業者の話が参考になった。

明日葉の夏場の生産量を上げるため大変苦労している 80 歳近い人が、未だにわからないことだらけで勉強の連続とお話を伺ったが、私も新島村の特産品である「あめりか芋」を用いた芋焼酎「地鉦」を製造しながらも、あめりか芋の収量が安定的に確保出来ず悩んでいる。あめりか芋の生産を始め 10 数年、未だに分からないことだらけで、原種のあめりか芋は大変難しく生産が多く望めない状態が続いているが、この状況の改善に向け意欲がわいてきたのも事実。研修に参加した一人一人が強い想いで農業に携わっている他の島の話がとても勉強になったため、またこのよう研修があれば参加したい。

農業者 公文氏

松村氏の花木農場は、広大な農地での栽培の中で主に露地の作物の栽培の方法や手法を教えて頂いた。苗木の出荷方法や作付けのやり方など初めて見聞きすることが多く、現在自分が栽培している作物の移植の時など参考になる内容だった。

JA 東京みらい清瀬支店は、新しい建物になったこともあり設備も綺麗だった。直売所では新鮮な収穫したばかりの野菜が安価で販売されており、卸される農家さんは自分の商品の販売状況をリアルタイムで把握できるため常に新鮮な野菜が陳列されている。加工品が少ない印象でしたがニーズなのかもしれない。

所沢市の服部さんはクリスマスローズを生産する花卉農家。今回見学させて頂いたのは多数所有されている中で所沢にある7棟のハウスで、事前に調べた際にオリジナル交配の生産をされているとのことだったため、私の生産と類似しており興味があった。販路開拓や紅葉のさせ方、高地栽培など勉強になることが多数あり、高地栽培については島では実践できないが、冬季の気温が年々上がっているため長期的には対策が必要になってくるのかもしれないと感じた。

百井委員： 農業に関し、他の島の人の話を聞くのは初めてのため、とても刺激があった。椿油のオーガニック認証など、利島農協のブランド力を上げる取り組みで、生産者の労働時間をデータとしてまとめ、生産性や稼ぎを可視化することで生産者のモチベーションにつなげていることなど、印象深かった。

八丈島の明日葉農家が嬉しそうに日々の農業の研究や試作、成果を共有しあっており、未だに分からないことがある、と次の挑戦への意欲を見せており、刺激を受けることができた。

青山会長の島しょ地区でのアグリツーリズム紹介で、来年、私自身も明日葉の農業体験などを実施し、取り組んでいきたいと思った。

石野会長： 11/6、ホテルエミシアで島しょ施策要望を決議、その結果を今後都へ要請活動をしていく。青山会長は、石原都知事時代の副知事を務めており、都の人事院もやっけていて、島しょへの知見も広い。小離島は観光とセットで考えていく方向性が相性がよく、ニュージーランドなどの海外の事例を紹介いただいた。

松村会長は会長歴も20年以上と長く、ご子息と一緒に経営され苗木販売を行っている。八丈島や三宅島へも卸しており、少し前に八丈島へミカンやレモンの苗木を送付したとのこと。JA東京みらいの理事でもあり、建設当初から尽力されている。

服部氏はクリスマスローズを生産しているが、父の代から分家して独自の種類を生産している。

参加者のみなさんがお話しした通り、他の島の農家や委員と情報共有ができる機会はとても貴重なので、ぜひ新島の農業委員、推進委員が皆参加できるように案内したいと思うので、なるべく参加していただきたい。

(2) 現況課税について

事務局： 新島管内の違反転用農地について、これからは是正するとりかかりとして、現況課税と合致していない土地は来年の課税から現況にて課税される。今回委員のみなさんに実施していただいた農地利用状況調査を基に、税制係が現調し課税の見直しを行ったが、他にも違反農地はあり、式根島、若郷地区についてはまだ手が付けられていない。引き続き、農地パトロールを強化し、農地の保護の観点から、違反転用については注意し、課税が畑になってしまったままのものは随時現況に合わせる方向で、勧告や行政代執行等の手段に移る前に住民の意識づけをおこなっていききたい。

(3) 刈払い機の講習会について

事務局： 1/17の午後に式根島にて、1/18の午前にも本村（本村・若郷住民対象）にて刈払い機の講習会を行う予定。農協が主催で、農業委員会も共催となるため、出席願いたい。

宮川委員： 安全ゴーグルなどは貸してもらえるか。

事務局： 今回は終了証などがもらえるものではなく、あくまで厚意により開かれる安全講習であるため、貸し出しは行わない。実技も全員ができない可能性があることをご了承願いたい。

(5) その他

- ① 農業委員会活動の成果・課題と今後の取り組みについて
1/4ㄨ切のものなので、今週中にご意見を伺いたい。新井までご連絡を。
- ② 意見書の回答について
遅くなってしまい大変申し訳ない。1月の総会までに配布するので、1月総会では、皆さんの意見をもらう場と予定している。
- ③ 簡水の引き込みについて
以前質問のあった、ホーム近くの簡水引き込みについて、簡水は厚生労働省の水道認可の手引きにもあるように、飲み水として整備するもので、生活圏内でないと給水区域に指定することができないとの水道係からの回答。防災の面でどうしても必要であれば、防災計画をもって簡水を引く必要がある旨の根拠が必要となる。
無電柱化は保育園の都道まで、その先は村道38床だったと思うので、40人の利用者となると水が古くなってしまうため、循環させるためにBBQハウスの方まで引っ張りつながなくてはならず、整備に莫大な費用がかかる。
- ④ 農業委員会だよりについて
2月担当委員は委員会だよりについて
3月号担当者：小久保委員、宮原委員、百井委員、植松委員
ㄨ切：令和6年2月9日（金） ㄨ切厳守で
- ⑤ 議事録署名人について
出席者の中から議席順で指名（11月分：大沼委員、植松委員）
- ⑥ 1月の総会について
1月30日（火）